



えんくるり事業に関する **企画委員会** を設置します！

えんくるり事業は今年度事業開始5年目を迎えますが、これまでの取組みのなかで、相談員による相談受付・経済的支援においては、相談、支援件数とも社協が9割以上を占めており、施設法人での相談、支援が少ない状況となっています。

また、社会資源開発事業においては、一部の市町村で、施設法人と社協が連携し、子ども食堂の運営や子ども服のリユースを行い、複数の参画法人等が連携した支援が進んでいます。しかし、法人連絡会等の開催が進まず、社協と施設法人との連携が課題となっている市町村が多い状況です。

新型コロナウイルス感染拡大の影響も含め、今後、地域住民や地域が抱える困りごとや課題等に対し、早期発見・早期解決を図るためには、社協と施設法人がそれぞれの機能を生かし、連携を強化していく必要があります。

昨年度、参加法人のみなさまにご協力いただいた「新型コロナウイルスへの対応・支援についてのアンケート」や、2月に開催した相談員連絡会では、それぞれの法人あるいは法人同士が連携することで取り組みそうな支援などについて貴重なご意見、ご回答をいただきました。いただいたご意見等を基に、参加法人の連携による具体的な支援や取り組み方法など検討するための企画委員会を設置することとしました。

引き続きみなさまからの積極的なご意見、実施に向けたご協力をお願いします。

新型コロナウイルスへの対応支援についてのアンケート 集計結果

コロナ禍における支援について、以下のなかで貴法人、あるいは他の法人と連携して取り組める、取り組みを検討したいと思われる支援に○をお願いします。(複数回答可)

ア 生計困難な子育て世帯などへ子ども服の提供

	回答数
i)使わなくなった子ども服の提供の呼びかけ、収集	18
ii)集まった子ども服の配布	13
iii)その他	0

イ 食事に困っている方などへのお弁当やパンなどの提供

	回答数
i)法人で運営されている食堂やカフェなどで提供される食事をお弁当として提供	1
ii)作業所等で作られているパンなどの提供	3
iii)その他	7

iii)その他内容

- ・食糧支援事業(5)
- ・ふれあい食事サービス事業の対象者の特例拡大
- ・備蓄品の提供

ウ 飲食店等の休業によりアルバイトなどで働く場を失った学生などに対して、働く場やボランティア活動の場などの提供

	回答数
i)施設内外の清掃などの軽作業のアルバイト	5
ii)利用者へのレクや演奏などボランティア	4
iii)その他	1

その他:ボランティアセンター

エ その他、貴法人が必要と思われる支援やすでに取り組まれている支援があれば、ご記入ください。

○実施している支援

- ・制服リユース(中学校・高校)
- ・ランドセルリサイクル
- ・子ども食堂への食材配達
- ・就職活動に必要なリクルートスーツやプリペイド携帯の貸出
- ・引越やごみ屋敷の片づけ

○必要と思われる支援

- ・オンラインでの相談支援体制の構築
- ・参加法人間のITソフトを活用した情報共有
- ・オンラインによるつながりの場の確保、またそのようなツールを利用できない方を排除しない工夫
- ・学生向けの食材提供
- ・学校用品のリサイクル
- ・緊急時に一時的な宿泊先の提供

子ども服リユース事業～南部町社協・境港市社協の取組み～

コロナの収束が見通せない中、各参加法人ではコロナ禍においても、実施方法等を工夫しながら取組みを進めてられています。今回は、南部町社協と境港市社協での子ども服リユース事業の取組みを紹介します。

南部町社協 「子ども服譲渡会」

南部町では、南部町社協が中心となり、町内の2法人（祥和会、伯耆の国）が連携、協働して、子ども服リユース事業に取り組んでいます。

令和元年度は、町社協主催のボランティアフェスティバルのイベントにブースを出展し、子ども服を持ち帰ってもらいましたが、昨年度は新型コロナウイルスの影響で、イベントなどが相次いで中止となり、持ち帰ってもらう機会がありませんでした。

そこで、イベントでの出展という形ではなく、子ども服のリユースを単独で行う譲渡会を10月に開催しました。感染防止のため事前予約制とし、時間を区切って来場人数を制限しましたが、予約はいっぱいとなりました。

ニーズが高いことから、今年度も6月に譲渡会を開催し、16組の参加がありました。今後は乳児検診の会場などで開催する予定です。



境港市社協

「子育て支援センターとの連携による子ども服リユース」

境港市社協では、今年度新たに市の子育て支援センター（以下センター）と連携し、子ども服リユース事業に取り組み始めました。

センターでは市内各地区の公民館を巡回し、子育て相談や子どもの遊び場の提供などを行う「プレイランド」を実施しており、その場を活用して、子ども服のリユースを行うこととなりました。

各地区に巡回しているため、イベントのように参加者が大人数で密になることもなく、感染予防対策もしっかり行っています。

第1回目が6月11日に渡地区公民館で開催され、子ども服リユースを利用した保護者の方からは「大変助かる」と感謝の声が聞かれました。

今後は市内の社会福祉法人とも連携しながら、取組みを進めていく予定です。



地域の課題解決に向けて法人が連携して取り組む事業を支援します！



えんくるり事業では、市町村圏域での法人連絡会の設立・開催を促進しています。

また、連絡会等で企画された法人が連携して取り組む事業に対し、事業費の助成を行っています。

（※社会資源開発事業）

一つの法人では難しい取り組みも、複数の法人が連携すればできることがあります。それぞれの法人の特性や強みを生かし、地域に必要な社会資源を作りだしていきましょう！

※社会資源開発事業 イメージ

